序論　「セカイ系」から「世界内戦」へ　5

◉第一部　二一世紀の「戦争」像——9・11以降の戦争表象

藤田直哉
9・11系ハリウッド映画群の謀略——テロリズム以降の映画表現

小森健太朗
Wから00へ——9・11を挟んで変貌した〈ガンダム〉シリーズの戦争描写　61

飯田一史
村上龍はなぜ「カンブリア宮殿」に至ったのか？　91

小森健太朗
モナドロギーからみた『図書館戦争』　135

岡和田晃
「世界内戦」下の英雄（カラクテル）——仁木稔『ミカイールの階梯』の戦略　157

補論
白井聡
アジア主義の廃墟に何が見えるか——安彦良和『虹色のトロツキー』を読む

●第二部　ロストジェネレーションと世界内戦

笠井潔
群衆の救世主（メシア）——『東のエデン』とロストジェネレーション　231

夏葉信博
至道流星と情報戦　279

◉第三部　コミュニケーション／コンテクスト／コンフリクト

渡邉大輔
コミュニケーション社会における戦争＝文学——阿部和重試論　285

海老原豊
空気の戦場——あるいはハイ・コンテクストな表象＝現実空間としての教室　319

ポスト9・11の表現を捉えるための作品リスト　365